

## 平成29年11月三木市教育委員会（定例会）会議録

### ◇ 日 時

- 1 開 会 平成29年11月20日（月）午後2時00分
- 2 閉 会 平成29年11月20日（月）午後4時50分

### ◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

### ◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 議 案  
議案第12号 平成30年度県費負担教職員人事異動内申の方針(案)  
について
- 5 協議事項  
協議事項13 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について  
(案)  
協議事項14 三木市就学援助規則の一部を改正する規則の制定につ  
いて  
協議事項15 幼保一体化計画の変更方針(案)について  
協議事項16 三木市児童手当事務処理規則の一部を改正する規則の  
制定について  
協議事項17 平成30年度三木市教育委員会事務局組織の改編につ  
いて(案)  
協議事項18 平成30年度の予算編成に係る教育予算について
- 6 報告事項
- 7 その他  
次回教育委員会定例会の開催日時について
- 8 閉 会

### ◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教育長職務代理者	里見	俊	實
	2番	委 員	井口		徹

	3番	委員	石井	ひろ美
	4番	委員	浦崎	秀一
	5番	教育長	[不在]	
事務局		教育長職務代行者兼教育企画部長	西本	則彦
		こども未来部長	椎木	栄作
		こども未来部参与	岩崎	恵
		教育政策課長	降松	俊基
		教育環境整備課長	安福	亮博
		文化スポーツ振興課副課長	森本	雅彦
		図書館長	伊藤	真紀
		学校教育課長	横田	浩一
		教育センター所長	大東	豊
		就学前教育・保育課長	正心	均子
		子育て支援課長	井上	典子
		参与兼企画調整課長	藤原	幸彦
		教育政策課主査	能出	真一
		教育政策課主任	橋本	祥子
傍聴者		0人		

\*\*\*\*\*

### 1 開 会

教育長職務代理者が、平成29年11月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

\*\*\*\*\*

### 2 会議録署名委員の指名

教育長職務代理者が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員と石井委員を指名した。

\*\*\*\*\*

### 3 会議録の承認

平成29年10月定例会（18日開催）の会議録の承認について、教

育長職務代理者が委員に諮ったところ、全員一致で承認された。

\*\*\*\*\*

◇ 議事の公開・非公開

教育長職務代理者が議事の進行について、協議事項 1 3 は公表前の案件であるため、協議事項 1 4 は議会提出案件の関連事項であるため、協議事項 1 5、協議事項 1 7 及び協議事項 1 8 は政策形成段階の案件であるため、三木市教育委員会会議規則第 5 条第 1 項ただし書の規定により、非公開で審議することについて委員に諮り、同意された。

\*\*\*\*\*

4 議 案

【議案第 1 2 号】

平成 3 0 年度県費負担教職員人事異動内申の方針（案）について

○横田学校教育課長が次のように説明した。

平成 3 0 年度三木市立小学校・中学校・特別支援学校県費負担教職員人事異動内申の方針を別添のとおり決定することについて、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第 2 条の規定により、委員会の議決を求める。

人事異動内申（案）については、県教委の平成 3 0 年度公立学校教職員異動方針を踏まえ作成している。昨年度の方針からの変更点として、基本方針の人事の刷新において、「教職員の資質向上」という文言を追加した。平成 2 9 年 4 月に教育公務員特例法が一部改正され、任命権者の県教委が、教員等の資質向上に関する指標及び教員研修計画を策定することが義務付けられたことに伴い、県教委の異動方針にこの部分が加筆されたため、本市の方針にも加筆したものである。

異動については、現任校に 3 年以上在勤した者を対象とし、7 年以上の者は積極異動、9 年以上の者は原則異動とする。今後のスケジュールは、1 2 月に希望調査を行い、1 月初旬に希望調査を基に学校長が作成した一覧を市教委に提出してもらう。1 月中旬に学校長に対するヒアリングを実施し、調整を進める。

(井口委員)異動の対象者で、考慮する事項の中に教育実績があるが、何をもって判断するのか。

(横田学校教育課長) 教職員の教科指導、学級経営、研究発表や生徒指導等について学校長から聴き取りし、それを基に判断する。

(井口委員) 3年間で教育実績は出るのか。また、異動にどう影響するのか。

(横田学校教育課長) 教育実績は、教職員1人1人が毎年目標を持って実践しており、年度ごとの積み重ねも合わせて考慮する。異動において、総合的に判断する材料となる。

(石井委員) 教職員には、自身の教育活動を評価されるものがあるのか。

(横田学校教育課長) 県教委では、教職員人事評価・育成システムが実施されている。学校長が教職員1人1人と面談し、取組目標を設定する。それに沿った教職員の教育活動への取組状況を評価し、指導・助言を行うことで、教職員の育成と教育活動の充実を図るものである。

(里見教育長職務代理者) 新進の抜擢に重点を置いた昇任、昇格が含まれた人事異動となるように取り組んでもらいたい。

教育長職務代理者が、議案第12号について採決を行い、原案のとおり可決された。

## 5 協議事項

### 【協議事項16】

三木市児童手当事務処理規則の一部を改正する規則の制定について

○井上子育て支援課長が次のように説明した。

社会保障・税番号制度における情報提供ネットワークシステムの運用開始に伴い、児童手当法施行規則の一部を改正する内閣府令が施行され、また、児童福祉法が一部改正されたため制定するものである。改正の概要として、様式第1号及び様式第13号の全部並びに様式第18号及び様式第19号の一部を、上位法令の改正に伴い改める。施行期日は、平成30年4月1日とする。

(石井委員) 児童手当・特例給付に係る寄附の申出書の様式で、「ホームページなどで氏名を公表することについて」という欄を外したのはなぜか。

(井上子育て支援課長) 寄附という観点から、ふるさと納税の様式と同様に当該の欄を設けていたと推測するが、当市では、児童手当から寄附をいただいたケースは今のところない。この度の改正は、国が示した様式に合わせている。

(里見教育長職務代理者) 私は、児童手当を寄附できるという制度自体に違和感がある。制度を利用する方もいない上、寄附をするのであれば、ふるさと納税等があるため、この制度自体廃止してもいいのではないかと感じる。

(椎木こども未来部長) 国の制度であり、他の内容や目的も踏まえての要望であれば、国に対して声を挙げていくが、現段階ではこの件のみの国への要望は差し控えたいと考える。

## 6 報告事項

### (1) 被顕彰者の決定について

○森本文化スポーツ振興課副課長が次のように報告した。

三木市立堀光美術館の所蔵品として、日本画1点(200万円相当)を寄贈いただいた野村久之様に、三木市教育委員会顕彰規則の規定により、感謝状を贈呈する。

### (2) 教育環境整備課報告事項

○安福教育環境整備課長が次のように報告した。

まず、小中学校・特別支援学校の施設整備工事について報告する。

緑が丘東小学校エレベーター設置等工事は、進捗率95%である。三木中学校及び三木東中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事は、共に進捗率5%であり、平成30年1月末までの工期予定である。

次に、上の丸保育所を精密診断法により耐震診断を行ったので、結果を次のとおり報告する。

- ・対象建物は、昭和45年竣工の木造平屋建ての保育所園舎である。
- ・構造形式は、在来軸組工法である。
- ・屋根、外壁については改修されており、経年劣化はあまり見られない。
- ・基礎は無筋コンクリートであるが、健全である。

・上部構造における診断結果の最低値は、X（東西）方向  $I_w=0.24$

Y（南北）方向  $I_w=0.32$  となり、耐震性能を満たしておらず、倒壊する可能性が高い。

以上のことから、基礎（掘削を含む。）、壁、柱、梁を補強しなければ、 $I_w=1.00$ 以上を確保できないという考察に至った。

耐震補強工事を行う場合、基礎は掘削を伴うため、事前に文化庁へ「現状変更申請」を提出し、審査後に工事着手となる（審査期間は約2か月）。また、工事費が高額となるとともに、完成まで長期間の日数を要する。

### (3) 文化スポーツ振興課報告事項

○森本文化スポーツ振興課副課長が次のように報告した。

市民合唱祭を10月29日に文化会館で開催した。第31回少年スポーツ大会を11月19日に総合体育館で開催し、参加者は約1,000名であった。みき歴史資料館では、企画展示「岩壺神社の祭り屋台展」を9月9日から10月22日にかけて開催し、参加者は1,668名であった。金物まつり協賛「わくわくスタンプ・ラリー」を11月4日、5日に実施し、参加者は173名であった。金物資料館特別企画展連動講座「三木の鋸について」を11月12日に開催し、参加者は14名であった。堀光美術館では、開館35周年特別展「追悼 野村はるみ 日本画展」を9月17日から10月22日にかけて開催し、参加者は1,227名であった。金物まつり協賛「木版画展」を10月29日から11月12日にかけて開催し、参加者は44名であった。

今後の予定として、成人式実行委員会を11月26日に開催する。みき歴史資料館では、スポーツ・チャンバラ「長治公を守れ！三木

合戦リベンジ」を11月25日に開催する。企画展特別講演会「新三木市史と歴史を活かしたまちづくり」を12月10日に開催する。堀光美術館では、「美術館をつくろう！2017 吉岡利奈写真展」を11月19日から11月26日にかけて開催する。「第42回グループしぶがき展」を12月3日から12月17日にかけて開催する。

(里見教育長職務代理者) 来年の新成人は何名ほどか。

(森本文化スポーツ振興課副課長) 例年12月1日時点で新成人とされる方に案内を発送しており、現在のところ約760名である。例年よりは減少している。

#### (4) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

「絵本と音楽のライブ2017」を11月3日に吉川図書館で開催し、参加者は71名であった。第2回図書館協議会を11月6日に開催した。トライやる・ウィークが11月13日から11月17日にかけて実施され、市内の中学生を中央図書館で8名、青山図書館で3名、吉川図書館で4名受け入れた。

今後の予定として、中央図書館では、「ビブリオバトル三木合戦2017」を11月26日、「絵本とわらべうたの会」を12月5日に開催する。吉川図書館では、「よかぼんまつり」を11月25日に、「未来に残す吉川の戦争の記憶」展を11月26日から12月2日にかけて開催する。また、「えいごのおはなし会」を12月10日、「DVD上映会」を12月17日、「すくすくのクリスマス会」を12月25日に開催する。

#### (5) 学校教育課報告事項

○横田学校教育課長が次のように報告した。

第8回校園長会を11月7日に開催した。学校主要行事等として、小学校の修学旅行、中学校の文化祭、中学校連合音楽会、小・特別支援学校連合音楽会及びトライやる・ウィークを記載の日程のとおり実施した。どの行事も大きな事故、怪我等の報告は受けていない。

今後の予定として、三木市学力向上サポート事業発表会、三木市教育委員会計画指導訪問、第9回校園長会を記載のとおり開催する。

小・中・特別支援学校の2学期終業式を12月22日に実施する。

(里見教育長職務代理者) 校園長会において、三木市学力向上推進委員会の報告があるが、三木市学力向上サポート事業発表会はどのような位置づけのものなのか。

(横田学校教育課長) 三木市学力向上推進委員会は、市全体の学力向上についての方策等について協議いただく組織である。その方策のひとつとして、三木市学力向上サポート事業を行っており、その中の発表会という位置づけである。

(椎木こども未来部長) 三木市学力向上推進委員会のメンバーには、研究指定を受けている学校の校長や担当教諭にも入っていただいている。

(浦崎委員) トライやる・ウィークは、中学2年生がするものとして定着しているが、何か成果は出ているのか。

(横田学校教育課長) トライやる・ウィークの実施は、今年度で20年目となる。生徒にとって、働くことの大変さや尊さ、礼儀作法の重要性を認識する機会となる。また、保護者との会話の増加や、地域との関わりが密接になってくるために、地域の一員としての自覚が芽生える効果もある。一方で、地域の方の中学生に対する理解を深めていただける機会ともなっている。

#### (6) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業として、研修講座を4回開催し、今年度計画していた講座は全て終了した。相談業務は、記載のとおりである。適応教室関係は、体験活動を10月20日に実施した。

青少年センターの事業では、ネット見守り隊パトロール報告の問題事案は無かった。第5回役員会及び深夜補導を11月17日に開催し、参加者は19名であった。今後の予定として、第2回ママさんパトロールを11月25日に実施する。第2回学校・警察・事業者連絡会を11月27日に開催する。第6回役員会を12月2日に



開催する。北播磨青少年補導委員統一活動を12月16日に実施する。また、引き続き、人の目の垣根隊意見交換会を記載のとおり開催する。

(里見教育長職務代理者) 有害環境実態調査とはどのようなものか。

(大東教育センター所長) 県の青少年愛護条例に基づき、県から委託を受け、コンビニや図書の販売を行っている店を回り、青少年の健全な育成に悪影響を及ぼすおそれのある販売について聴き取り調査を行うものである。

(里見教育長職務代理者) 調査先の店舗は決まっているのか。

(大東教育センター所長) 毎年調査を行っている店舗に、新しくできた店舗を分かる範囲で追加している。

#### (7) 就学前教育・保育課報告事項

○正心就学前教育・保育課長が次のように報告した。

三木市教育委員会指定 教育・保育研修会、公立4園合同人権研修会、第三者監査及び保育者交流研修会を記載の日程のとおり開催した。特定教育・保育施設入所申請受付を11月15日、16日に実施した。

今後の予定として、第三者評価と監査を引き続き実施する。保育者交流研修会を11月24日に開催する。三木市保育教諭採用試験を11月26日に実施する。

#### (8) 子育て支援課報告事項

○井上子育て支援課長が次のように報告した。

アフタースクールの平成30年度当初利用の申し込み状況は11月6日現在で720名である。昨年度の申し込み状況と比較し、66名増となっている。例年この時期以降も申し込みがあるため、まだ増加すると推測している。

(浦崎委員) 施設別の申し込み状況が分かる資料を次回に提示していただきたい。

(里見教育長職務代理者) 申込み状況が増えてきているのはなぜか。

(井上子育て支援課長) 女性の社会進出により、フルタイムで勤務されている方が増加していることや、高学年の申込みが増加していることが一因と考えられる。

(石井委員) どの学年が一番増加しているのか。

(井上子育て支援課長) 1年生の申込みが多い。また、高学年でも、保護者のいない間は留守番することは難しいと思われるご家庭が多く、申込みも増加傾向にある。

(里見教育長職務代理者) これだけ増加してくると、ただ預かるのではなく、何かできることはないか。

(井上子育て支援課長) ただ預けるというより、安全に生活し、宿題ができた状態で子どもが帰ってくるため、むしろアフタースクールに行かせたいと思われている保護者が多いと感じる。担当課としては、アフタースクールは、児童に生活リズムを促しはするが、やはり家庭での教育が重要ということを声掛けする形をとっている。

(石井委員) アフタースクールに預けている理由として、家で留守番している間にゲームばかりしていたり、子ども達のたまり場となることの防止のためと聞いたことがある。今後も申込みは増加傾向にあるため、それに対応できる支援員の人材確保を要望する。

(里見教育長職務代理者) アフタースクールの内容について、児童、家庭、社会全体にとっていい方向に発展できるように研究すべきである。支援員の資質という問題も出てくるが、学力向上のための教育を行ってもいいのではないかと感じる。

(椎木こども未来部長) 当市の支援員の人数は、国の基準よりも多く、それぞれ現場で工夫いただいているが、教育を行うとなると、支

援員に求められる資質という面で負担が増えてくる。アフタースクールの利用者が増加してきており、支援員を確保し、現場の安全性を保つことが喫緊の課題である。今後、アフタースクールの内容について、他市の先進事例等を研究し、検討していく。

\*\*\*\*\*

(非公開)

**【協議事項 1 3】**

平成 2 9 年度全国学力・学習状況調査の結果について (案)

**【協議事項 1 4】**

三木市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について

**【協議事項 1 5】**

幼保一体化計画の変更方針 (案) について

**【協議事項 1 7】**

平成 3 0 年度三木市教育委員会事務局組織の改編について (案)

**【協議事項 1 8】**

平成 3 0 年度の予算編成に係る教育予算について

協議事項 1 3、協議事項 1 4、協議事項 1 5、協議事項 1 7 及び協議事項 1 8 は、三木市教育委員会会議規則第 5 条第 1 項ただし書の規定により、非公開として審議したため、同規則第 3 1 条の規定により、内容については記載しない。

\*\*\*\*\*

## 7 その他

次回教育委員会定例会の開催日時について

教育長職務代理者が、次回の教育委員会定例会の開催予定日時について諮り、平成 2 9 年 1 2 月 2 2 日、午後 3 時から開催することを決定した。

\*\*\*\*\*

## 8 閉 会

教育長職務代理者が、平成29年11月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。